



交通安全だより

第80号 平成25年9月発行 札幌市交通安全運動推進委員会 TEL211-2268

札幌市の交通安全 <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/>



秋の交通安全市民総ぐるみ運動にご協力ください！



子どもと高齢者の交通事故防止



9月21日(土)～9月30日(月)
～全国一斉～



夕暮れ時と夜間の歩行中・
自転車乗用中の交通事故防止



居眠り運転による交通事故防止



全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底



飲酒運転の根絶



期間中、各地域で街頭啓発など様々な交通安全の取り組みが行われます。
交通安全は家庭から、地域から始まります。
この機会にぜひ、家庭や職場で交通安全について話し合ってみてください。



交通事故注意報!!



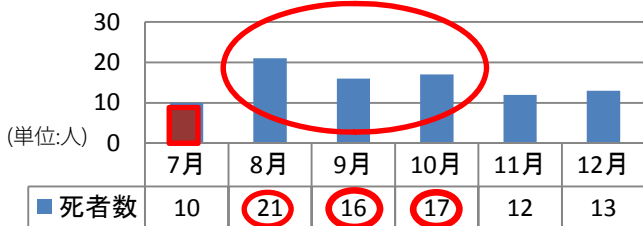
過去5年間のデータ(市内)を見ると、月別交通事故死者数は今時期が特に増加している傾向にあります。

●歩行者の皆様へ：これからの時期は、日没が急速に早まります。薄暮時の外出は特に気を付けて、反射材の使用を心がけてください。

●ドライバーの皆様へ：飲酒運転は犯罪！事前にハンドルキーパーを決めるか、運転代行業者を利用する等、絶対に飲酒運転はやめてください。

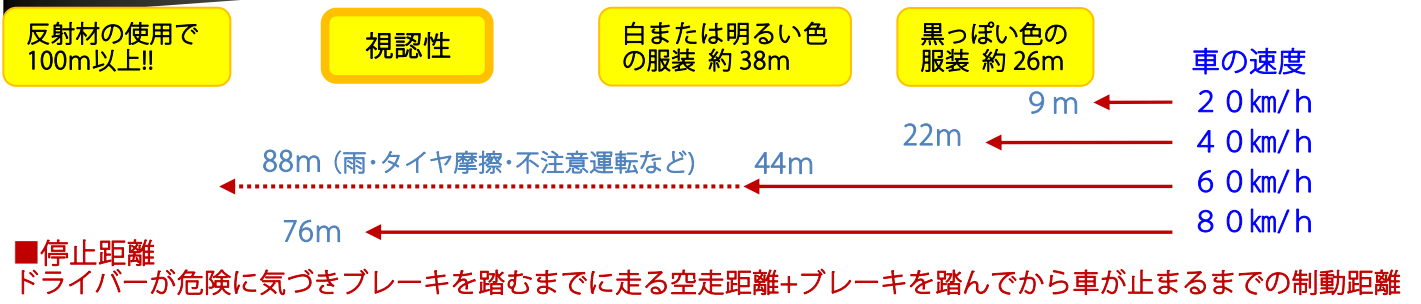
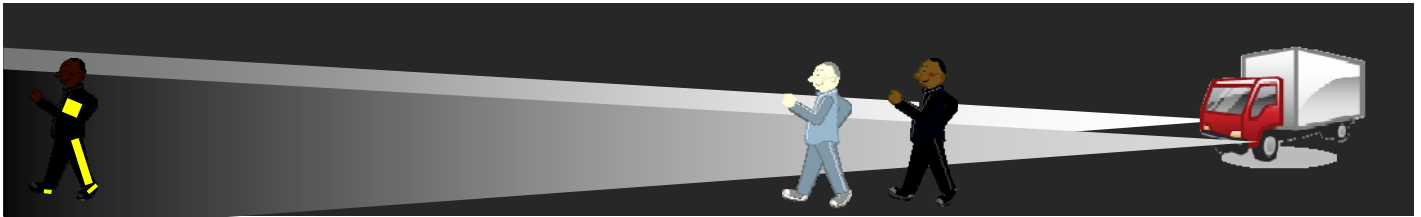
＝尊い命をなくすことのないよう、また絶対に事故を起こさないように気持ちを引き締めて運転・生活していきましょう！＝

月別死者数(過去5年間合計)



平成25年9月30日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です！

夜光反射材はなぜ必要なのでしょう



夜間、車のヘッドライトを下向きにした状態で歩行者を確認できる距離は、着ている服の色によって異なりますが約25～40mとされています。車が歩行者を発見して止まるまでの距離(制動距離)は、時速60kmで44mです。したがってこの距離では、運転手が人に気がついてブレーキを踏み込んでも間に合わない結果になってしまいます。

歩行者が夜光反射材を身につけていた場合はどうでしょう。運転手は100m以上先にいる歩行者の存在を確認でき、状況に合った対処ができるのです。「自分を見せる」ことの大切さ、わかっていただけましたか？



～安全運転のポイント～

■危険予測で事故防止 ★かもしれない★運転！

十分な車間距離をとりましょう＝◎薄暮時間帯は、歩行者などが確認しづらいため、歩行者の発見が遅れた前車が急に止まるかもしれません。

確実な一時停止と安全確認＝◎コンビニエンスストアやファミリーレストランに入る場合など、歩道上を歩行者や無灯火の自転車が近づいてくるかもしれません。

■連休中の行楽など、長距離運転の機会があるときは・・・

★疲れのサイン★を見逃さない！

こんなときはすぐ休憩しましょう

- ◎あくびが増える
- ◎目がしょぼつき、瞬きが増える
- ◎後方や側方を見るのが億劫になる
- ◎足が重くなり、アクセル操作が雑になる

★こまめな休憩★を！



効果的に休憩しましょう

- ◎1～2時間に1回、15分以上
- ◎休憩後には軽く体操をして身体をほぐす
- ◎スポーツドリンクなどで水分補給
- ◎眠気を感じたら車を停めて短時間でも仮眠

後部座席を含めた全ての席のシートベルト着用を徹底！！